

歯と口腔の健康づくり事業について
(関係団体等)

テーマ：乳歯むし歯の予防，口腔清掃の習慣づけ

- 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診査体制の推進
- 母子保健や子育て支援に従事する者の資質の向上
- フッ化物応用等による効果的な歯科口腔保健対策の普及

- 乳幼児の発育段階を踏まえた歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発の推進
- 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
東北大学	乳幼児の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究	乳幼児期からの健康な口腔の育成を目指して、乳幼児の発育と口腔内疾病予防等に対して、疫学研究や基礎的、臨床的研究を行う。	乳幼児の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究を実施し、有益な知見を得るとともに、その成果を発表・公表した。	実施（継続）
	美里町子育て支援センター歯みがき教室事業	子育て中の親子に対して歯と口の最新の知見を解りやすく解説し、口腔保健の推進するために歯みがき教室を実施する。	美里町の小・中学校に出前授業を実施し、学校保健指導に役立てている。「美里町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究所との口腔保健連携協力に関する協定書」を締結し、それに基づいて、美里町子育て支援センター歯みがき教室事業を計2回実施し、参加した親子52組に口腔保健を啓発した。	実施（啓発活動）
宮城県歯科医師会	フッ化物洗口を利用したパブリックケアの推進	乳幼児歯科健診後に定期的な管理を行える医療機関を登録していただき、その医療機関リストを作成。また、宮城県のホームページにもリストを掲載してその情報を県民の方に広く提供する。	（1）乳幼児歯科健診後に定期的な管理を行える医療機関を登録していただき、その医療機関リスト作成。 また、宮城県のホームページにもリストを掲載してその情報を県民の方に広く提供する。 宮城県歯科医師会館員への周知を行い、登録医療機関を募集しリストを作成および更新。 （2）冊子「フッ化物応用マニュアル」の配布（平成17年宮城県歯科医師会作成）。	実施（継続）
	妊娠期における歯科保健対策事業【宮城県委託事業】	県内在住の母親が妊娠時期から歯科保健についての正しい知識を持ち、子どもの歯科保健に対する適切な保健行動の実施に資することを目的とする。	（1）8月30日「じょさんしフェスタ」仙台市 広瀬市民センター 一般社団法人助産師会が主催する「じょさんしフェスタ」等の開催場所を活用し、歯科医師及び歯科衛生士による妊婦等への講話、歯科健診、歯科保健指導、口腔ケア指導等を実施。 （2）市町村妊婦歯科健診 10月27日（木） 富谷市保健福祉総合センター 参加者 14名 11月18日（金） 石巻市にじいろクレヨン 参加者 2名 11月29日（火） 富谷市保健福祉総合センター 参加者 7名 2月2日（木） 石巻市なかよし子育て支援センター 参加者 1名 2月17日（金） 石巻市NPO法人ベビースマイル石巻 参加者 5名 3月16日（木） 富谷市保健福祉センター 参加者 6名 多くの県内在住の妊産婦期の方への啓発を行うため、歯科口腔保健に関するパンフレット等の作成、配布	実施予定（県委託事業） 「じょさんしフェスタ」 1回実施 予定 啓発用パンフレットの作成、配布

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内 容	
宮城県歯科医師会	歯つらつファミリーコンクール	歯つらつファミリーコンクールは、家庭の中で歯の健康管理を通じた健やかな生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を県民に広く啓発する。(宮城県と共催)	<p>昨年度に3歳児健診を受けたお子さんとそのご家族の方が対象で、県内各市町村広報誌公募による応募と歯科医師会会員推薦の2つの方法で募集を行い、審査会にて各賞を決定後に本人に通知。上位入賞者は第34回宮城県歯科保健大会(日程:11月12日(土) 会場:宮城県歯科医師会館)で行った。入賞者には賞状および記念品を贈る。また、親と子の部の宮城県知事賞・最優秀賞の方から1組が、厚生労働省及び日本歯科医師会主催の「平成28年親と子のよい歯コンクール」中央審査会に宮城県代表として参加。</p> <p>◇応募数 79名</p> <p>親と子の部</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県知事賞・最優秀賞 2組 ・優秀賞 2組 ・入賞 56組 <p>ファミリーの部</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮城県知事賞・最優秀賞 4組 ・優秀賞 3組 ・入賞 1組 	実施(継続)
	第34回宮城県歯科保健大会	広く県民と歯科保健事業関係者の参加を得て、口腔衛生思想の啓発、歯科保健に関する研修を行い、さらに8020運動推進のため努力されている個人、学校関係者を表彰し、宮城県における歯科保健事業のなご一層の充実、発展に寄与することを目的とする。	<p>○日程:11月12日(土) 会場:宮城県歯科医師会館</p> <p>表彰式 (宮城県歯つらつファミリーコンクール表彰、宮城県8020よい歯のコンクール表彰、宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール表彰、宮城県歯・口の健康啓発標語コンクール表彰、宮城県健康な口腔とよい歯の幼稚園・学校表彰、宮城県20年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、宮城県20年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、宮城県10年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、学校歯科保健功労表彰)</p> <p>○特別講演 演題:「古くて新しいむし歯の話」～むし歯の常識を更新しよう～ 講師:東北大学大学院歯学研究科 口腔生化学分野教授 高橋 信博先生</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰式一参加者117名 特別講演一参加者141名 宮城県歯科保健大会誌1,800部作成 	<p>実施(継続)</p> <p>日時:平成29年11月18日(土)</p> <p>会場:宮城県歯科医師会館</p>
	イベントでの啓発事業	イベント等において口腔保健に関心が持てるよう普及啓発を図る。	<p>(1) しっかり噛んで健康家族ロッチェ・チューイングランド 日程:8月6日(土), 8月7日(日) 会場:夢メッセみやぎ 歯科医師6名派遣</p> <p>(2) 子育て応援団すこやか2016 日程:10月15日(土)~16日(日) 会場:セキスイハイムスーパーアリーナ 歯科医師6名派遣</p> <p>(3) 第13回いい日いい汗栄養まつり 日程:11月20日(日) 会場:仙台市情報産業プラザ 歯科医師3名派遣</p> <p>(4) いい歯きらめき1017(サンスターファミリーミュージカル) 日程:3月26日(日) 会場:イズミティ21 歯科医師8名派遣</p> <p>○上記(1)においては咬合力測定と歯科健康相談、(2)(3)(4)において歯科健康相談および歯周病チェック(ペリオスクリーン使用)を実施。</p>	実施(継続)

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
歯科衛生士会	歯と口腔の衛生週間事業 (乳幼児フッ化物塗布)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口腔の衛生週間(毎年6月)に行われる市町村イベントへの協力 ・乳幼児とその家族へのフッ化物歯面塗布の重要性の啓蒙と実施 ・う蝕予防に関する啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○生後8か月～3歳児までを対象としたフッ化物歯面塗布 ○乳幼児のう蝕予防を対象とした保護者に対する仕上げみがきや食生活指導 ○フッ化物洗口の体験 ○フッ化物歯面塗布 45名 フッ化物洗口 113名 仙台市：フッ化物歯面塗布 45名 フッ化物洗口 113名 気仙沼市(歯科衛生士11名)、石巻市(歯科衛生士9名)で歯科医師会と連携し活動を行う。 	未定
宮城県 国公立幼稚園・ こども園協議会	宮城県国公立幼稚園・ こども園協議会総会・ 研修会	歯と口腔の健康づくりの土台となる幼児期の重要性についての情報を共有し、各園での実践や歯科保健の意識を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ○健康推進課主催の研修会の参加呼びかけ ○保護者参加型の研修会、歯と口腔の健康づくりに向けての親子行事の実施等の動きかけ ○各園での保護者と連携しながらの歯と口腔の健康づくり ○各園での給食や弁当時における歯みがき指導、食育等の活動を年間を通じて実施。 	実施(継続) 歯科保健推進協議会で報告された資料から、幼児に関する調査結果について情報提供を行い、各園で歯と口腔の健康のための健全な歯科保健行動を考えるうえで参考として活用してもらう。
宮城県保育協議会	①普及啓蒙 ②歯の健康 診査 ③フッ化物洗口導入支 援 ④食育活動	歯磨き指導やフッ化物洗口による虫歯予防、規則正しい食生活の指導。歯科健診後の家庭結果報告等の配布にて歯の状態の把握。栄養士・保健師・歯科衛生士の専門的立場からの直接指導等。これらをとおして、歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓蒙に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ①② 会員施設371ヶ所において年1回以上歯の健康診査を実施。その結果を家庭に周知し、普及啓蒙活動につなげている。 ③ 仙台市以外においては、他の市町村でも実施するようになってきているが、かなりばらつきがある。導入を前提にしたフッ化物洗口説明会や、公立での試験的な取り組み状況であり、積極的な導入には、時間を要する状況である。 ④全ての施設において実施している。 	実施(継続)
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり	ライフステージ全般に関して、いかに口腔ケアが大切か、食の重要性と合わせて、歯科についても啓蒙普及に努める。	市民を対象に大イベント「いい日いい汗 栄養まつり」の事業を実施。歯科に関する歯科医師、歯科衛生士コーナーを設け、相談者に対して口腔ケアの話をする。また、発表コーナーに於いて相談指導を行う。 参加者 630名	実施(継続) ライフステージ毎の栄養士のブースを設ける 行政栄養士：妊産婦期・乳児期(口腔ケアと合わせて離乳食展示) 保育所栄養士：乳児期(手作りおやつと合わせてう蝕予防) 学校栄養士：学童アレルギー食、食育紹介、歯の大切さ 病院栄養士：生活習慣病予防・歯周病疾患を招く糖尿病 福祉栄養士：高齢期・障害(嚥下食、義歯の大切さ、口腔ケアの大切さ) 宮城県民を対象とする。 参加する栄養士も全ての職種からの代表とする。 今年度より内容を変更しているの で、昨年度より多くの参加者を期待する。

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
山元町食生活改善推進員協議会	平成28年度 歯と口と健康のつどい	歯と口腔の健康に関する正しい知識の普及とともに、歯周疾患の予防に関する適切な生活習慣の定着を図り、併せてその早期発見および早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、健康の保持増進に寄与することを目的とする。	体験コーナーに食生活推進員ブースの設置 ①歯にやさしいおやつ展示 ②歯にやさしいおやつ試食の配布（100名分） ③歯にやさしいおやつレシピの配布（200名分） ジュースの糖分に関するパネルの掲示	検討中 平成29年度「元氣やまもとみんなの健康まつり」への協力 （食生活改善推進員ブースの設置）
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	大崎市健康と福祉のつどい （食生活改善コーナー）	市民の健康づくりのため、かみかみメニューの試食体験やレシピなどの配布を実施し、望ましい食生活やよく噛み・味わって食べることの大切さを普及する。	・かみかみメニュー試食（大豆ごはん、野菜たっぷり豚汁） ・カミカミレシピ及び噛む効用と噛みごたえ表の配布 実施日：10月15日（土）～16日（日）2日間 普及啓発：1,700名	実施予定
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	むし歯予防人形劇 （田尻地域2歳6ヶ月健診）	乳幼児とその保護者に対して人形劇を実施し、望ましい食生活やよく噛み・味わって食べることの大切さを啓発する。	指人形劇によるむし歯予防と噛む大切さの啓発活動 実施回数 4回 普及啓発数 幼児 51名 保護者 51名	実施予定

学童期・思春期

テーマ：永久歯むし歯と歯肉炎の予防

○生涯にわたり実践に生かせる歯科口腔保健教育、歯科口腔保健活動の推進

○歯科口腔保健活動のための学校及び地域の連携の推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
東北大学	文部科学省学校教員免許状更新研修（選択型）事業	文部科学省学校教員免許状更新研修に口腔保健をテーマにしたプログラムを提供し、教員の資質向上を図る。	選択科目12時間の口腔保健に関わる研修プログラムを提供し、養護教諭・教諭の資質向上を図ると共に、学校歯科保健の推進を支援する。 ・8月22日、23日（2日間） 参加者36名 ※平成21年度からの総計195名	実施（継続） 現在36名定員で参加者を募集中である。
	東北大学復興アクション支援事業「被災地における地域口腔保健推進システムの運用と口腔健康の動態の解析」	被災地の子どもの学校歯科保健の状況を把握して、健康状態の悪化を防ぐための方策を実施し、地域の口腔保健の取組を支援する。	被災地、特に亘理町内の小中学校の学校歯科健康診断の結果を集約して実情を把握し、被災後の口腔保健の悪化を防ぐ方策を企画・実施し、それを全国に向けて発信する。 ・「亘理町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との口腔保健連携協力に関する協定書」を締結し、亘理町6小学校児童1,677名、4中学校生徒926名、計2,603名の学校歯科健康診断のデータを集約し、問題点を解析し、さらに、被災前の身長・体重・歯科検診データ収録を行った。これを元に、「お口の成長記録手帳」を作成し、被災地小学校・中学校計5校124名に贈呈した。	実施（継続） 亘理町の小中学校の学校歯科保健診断の結果集約を継続し、現状の把握と解析を継続すると共に、学校歯科保健啓発ムービーⅠ、Ⅱを応用した歯科保健活動の実施プログラムを開発して広く情報発信する。
	東北大学出前授業講座	歯と口の最新の知見を解りやすく解説する出前授業を実施し、口腔保健に向かう心を涵養する。	仙台市教育委員会と東北大学が協定して出前授業を実施する。 歯学研究科からは「お口の中は不思議がいっぱい」と題して出前授業を行う。 12月5日 仙台市立立川前小学校で出前授業を実施した。	実施（継続）
	美里町小中学校出前授業事業	歯と口の最新の知見を解りやすく解説する出前授業を実施し、口腔保健に向かう心を涵養する。	「美里町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との口腔保健連携協力に関する協定書」を締結し、それに基づいて、計3回（美里町立南郷小学校、小牛田中学校）出前授業を行った。	実施（継続）
	仙台市立住吉台中学校出前授業事業	生徒を主体として歯と口の健康維持の方策に関する授業を実施し、口腔保健に向かう心を涵養する。	歯と口の健康維持の方策を、生徒自身が解りやすく解説する生徒主体の授業を実施し、口腔保健に向かう心を涵養する。 仙台市歯のモデル校に指定された、仙台市立住吉台中学校にて計3回、全学年と保健委員対象として出前授業と生徒主体授業の企画を支援した。	実施（継続）
	平成28年度サイエンス・スクール「夏休み大学探検2016」事業	歯科医療現場で行われている歯科医学の技術に触れることを通して、口腔保健に向かう心を涵養する。	仙台市教育委員会と東北大学が協定を結び、仙台市内中学生を対象に、歯科医療の現場で使用されている技術を体験し、診療時に行われる操作を実際に行ってみることを通して、口の健康の大切さに気付かせる。 8月9日 仙台市内中学生参加者2名	実施（継続） 中学生8名定員で参加者募集中である。
	学齢期の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究	学齢期の健康な口腔の育成を目指して、疫学研究や基礎的、臨床的研究を行う。	学齢期の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究を実施し、有益な知見を得るとともにその成果を発表・公表した。	実施（継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科医師会	フッ化物洗口を利用したパブリックケアの推進 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	学校歯科医生涯研修制度 基礎研修会	全ての学校歯科医が専門性を活かしながら教育者としての資質を備え、積極的に学校歯科保健活動を推進し、生涯にわたってその資質の維持と向上を図り、幼児、児童生徒の歯・口腔の健康増進に貢献することを目的とする。	4月9日 宮城県歯科医師会館 参加者 学校歯科医・他 合計52名 ○講演Ⅰ「学校歯科保健の概念を把握する」 講師：宮歯常任理事兼学校歯科部会会長 山形 光孝先生 ○講演Ⅱ「学校歯科保健における保健教育を理解する」 講師：日本学校歯科医会生涯研修制度運営委員会委員長 安井 利一先生 ○講演Ⅲ「学校歯科保健における保健管理を理解する～学校歯科健診のパネル改訂の説明～」 講師：宮歯学校歯科部員 阿部 清一郎先生 ○講演Ⅳ「学校歯科保健における組織活動を理解する」	実施(継続) 11月予定 場所は宮城県内で開催 講演内容は以下を予定している。 講演Ⅰ「学校歯科保健の概念を理解する」 講演Ⅱ「学校歯科保における保健教育を理解する」 講演Ⅲ「学校歯科保健における保健管理を理解する」 講演Ⅳ「学校歯科保健における組織活動を理解する」 平成29年素新任、再任の学校歯科医を含む歯科医師を対象とする。
	宮城県 歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール 宮城県 歯・口の健康啓発標語コン クール	歯の衛生に関する正しい知識を普及するとともに、歯科疾患の予防と処置の徹底を図り児童・生徒の健康保持増進に寄与する。	宮城県内小学校、中学校に募集要項を送り、締切日まで送付された作品を審査し、最優秀、優秀、佳作を選定する。 ○宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査 応募数：小学生100点、中学生16点 計116作品 入賞：最優秀3点、優秀6点、佳作15点 ○宮城県歯・口の健康啓発標語コンクール審査 応募数：小学生240点、中学生47点 計287点 入賞：最優秀賞1点、優秀賞4点、佳作4点	実施(継続)
	宮城県 健康な口腔とよい歯の 幼稚園・学校表彰	「『生きる力』をはぐくむ学校での歯・口腔の健康づくり」の理念に基づき、学校教育目標の具現化を目指した活動を推進し、全国的に範とするに足る成果を上げた学校の表彰を行い、もって幼児、児童生徒の歯・口の健康づくりの目的達成を図るとともに、「食」などの基本的な生活習慣の形成や心の健康づくり等を目指した確かな健康観の育成に資することを目的とする。	○宮城県健康な口腔とよい歯の幼稚園・学校表彰審査 応募数：幼稚園2園、小学校70校、中学校5校、高等学校の部1校、特別支援学校6校 最優秀賞：宮城教育大学附属幼稚園、仙台市立桂小学校、気仙沼市立唐桑中学校、宮城教育大学付属特別支援学校 優秀賞：仙台市易栢江小学校、仙台市立中野米小学校、仙台市立黒松小学校、仙台市立住吉台中学校、宮城県立泉館山高等学校、宮城県立利府支援学校富谷校 入選：幼稚園の部 1園、小学校の部 66校、中学校の部 3校、高等学校の部 該当なし、支援学校の部 4校 宮城県20年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰 2校 宮城県10年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰 2校	実施(継続)

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科医師会	学校に対する歯科保健・安全対策等情報の提供	学期における、個々の項目が着実に実行されるよう努めることが重要であり、そのためには、園・学校におけるヘルスプロモーションの理念に基づく歯科保健教育・管理・組織活動の充実が不可欠となる。県教育委員会、県行政、関係団体と連携を密にし、園・学校における歯科保健活動の更なる向上とその定着に向け、多面的な協力支援を行う。	<p>(1) ホームページを利用した学校歯科保健情報の配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全法施行規則の一部改訂により、平成28年度学校健康診断の事後措置は健康と認められる児童生徒についてもその結果を通知することになった。このため、「歯科健康診断結果のお知らせ」様式案を改訂し、本会ホームページにおいて学校関係者等への周知を行った。 <p>(2) 宮城県児童生徒の健康実態調査への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県教育委員会が発表した平成27年度宮城県児童生徒の健康実態調査結果について分析し、考察を加えて今後の課題等を宮城県学校保健会に提言した。分析結果は冊子としてとりまとめられ、宮城県学校保健会から県内各学校へ配布された。 <p>(3) 養護教諭を目指す学生に対する学校歯科保健(実習)教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台大学体育学部保健福祉学科養護教諭養成課程学生18名に対して看護学実習(学校歯科保健)を行った。 	<p>実施(継続)</p> <p>ホームページを利用した学校歯科保健情報の配信</p> <p>平成27年度宮城県児童生徒の健康実態調査に対する助言・協力</p>
	宮城県歯科保健大会(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	イベントでの啓発事業(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	歯とお口の健康教室	学童に対する歯科保健教育を専門のスタッフにより多面的な教材を用いて、宮城・仙台口腔保健センター内で実施する。「聞く、見る、触る、実行する」という体験学習を通して、口腔と全身の関わりについての理解を含め歯科保健教育の向上を図る。	<p>宮城県委託事業からは離れたものの、宮城県歯科医師会単独事業として、年間5回程度の開催を平成28年度と同様に実施。</p> <p>(1) 歯科医師による講話や、口腔保健センター内のパネル・展示物を利用して、口腔の役割、むし歯の原因と予防法、健康増進のための食生活などを学習する</p> <p>(2) 咬合力測定器、位相差顕微鏡、CCDカメラ等のハイテク器材を利用して、自分の口の中を多方面から観察</p> <p>(3) 歯科衛生士による歯ブラシ指導</p> <p>仙台市立東二番丁小学校(3年生)</p> <p>名取市立高館小学校(3年生)</p> <p>仙台市立幸町小学校(3年生)</p> <p>登米市立横山小学校(3・4年生)</p> <p>大郷町立大郷小学校(3年生)</p> <p>蔵王町立円田小学校(3年生)</p>	<p>実施(継続)</p> <p>仙台市立東二番丁小学校 26名予定</p> <p>仙台市私立幸町南小学校 24名予定</p> <p>名取市立高館小学校 22名予定</p> <p>仙台市立立町小学校 37名予定</p> <p>登米市立柳津小学校 31名予定</p> <p>蔵王町立円田小学校 17名予定</p>
教育教材活用講習会【宮城県委託事業】	健全な永久歯の育成を図るため、学童期・思春期において歯と口腔機能の発達状態に応じた、バランスの取れた食生活や望ましい食習慣の確立など、児童・生徒を通じて主体的に歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう支援するもの。	<p>平成27年度に作成した小・中学校向けに「食育」の視点を取り入れた歯と口腔の健康づくりに関するツール(パワーポイントのスライドを収録したCD-ROM)および教員向けにスライド内容を説明した解説書について、学校現場での活用を促進するため、教員を対象にした講習会を圏域単位で開催。</p> <p>①8月31日 栗原金成庁舎 北部教育事務所栗原地域事務所</p> <p>対象：保健主事、養護教諭 31名</p> <p>講師：宮歯学校歯科部員 佐藤 晶先生</p> <p>②10月6日 宮城県医師会館 大河原教育事務所</p> <p>対象：校長、教頭、主幹教諭、教務主任、保健主事、養護教諭 125名</p> <p>講師：宮歯学校歯科部会長 山形 光孝先生</p> <p>③10月20日 仙台市役所 仙台市教育委員会</p> <p>対象：養護教諭、保健主事、学校医等 95名</p> <p>④11月18日 石巻市桃生公民館 東部教育事務所</p> <p>対象：校長、養護教諭 80名</p> <p>講師：宮歯学校歯科部員 阿部 清一郎先生</p> <p>⑤11月29日 気仙沼市本吉公民館 南三陸教育事務所</p> <p>対象：保健主事、養護教諭部、給食主任 50名</p> <p>講師：宮歯学校歯科部員 佐藤 晶先生</p> <p>⑥1月17日 亘理町吉田公民館 仙台教育事務所</p> <p>対象：保健主事、養護教諭 26名</p> <p>講師：宮歯学校歯科保健部会長 山形 光孝先生</p>	<p>実施予定</p> <p>各教育事務所が実施する研修会の場を利用し、学校保健会、歯科医師会等と連携して歯科医師を派遣し、児童生徒の歯科口腔保健の向上に資する研修会を県内7圏域で実施する。</p>	

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科衛生士会	学校歯科健診時における 歯科保健指導	学校歯科健診に対する介助と並行しながら特に口腔内の清掃不良が原因で見られるう蝕の多発や歯肉炎が観察される学童・生徒に歯みがき指導を行い各疾患の予防意識を高める。	学校歯科検診時に、各学校の希望に応じて集団又は個別の歯科保健指導を行なう。 小学校 13校・中学校 7校・高等学校 12校 合計32校 ・歯科衛生士 106名参加	未定
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
山元町食生活改善 推進員協議会	平成28年度 歯と口と健康のつどい	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	検討中 平成29年度「元気やまもとみんなの健康まつり」への協力 (食生活改善推進員ブースの設置)
大崎市食生活改善 推進員連絡協議会	おやこ食育教室 (カミングおおさき)	親子に対して、体験を通して望ましい食生活とよく噛み・味わって食べることの大切さを普及する。	講話「噛む大切さ」～噛むってこんなにいいことが～ 調理実習 「かみかみメニューを作ろう」 会食 「かみかみ体験」～一口30回噛んでみよう～ 実施回数 8回 参加人数 児童・幼児 75名 保護者 60名	実施予定
大崎市食生活改善 推進員連絡協議会	大崎市健康と福祉のつどい (食生活改善コーナー)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定

青年期・壮年期

テーマ：歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底（青年期），歯周疾患対策と歯の喪失予防の推進（壮年期）

- 成人を対象とした歯科健康診査の機会の確保とその推進
- 地域保健と職域保健との連携による支援体制づくり
- かかりつけ歯科医をもつことの推進

- 歯周疾患予防に効果的な方法の普及啓発の推進
- 成人の歯と口腔の実態把握及び歯と口腔の健康が維持できる体制の構築

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
東北大学	みやぎ県民大学	県民の口腔の健康増進を目指して、口腔保健の啓発となる講義を実施する。	東北大学大学院歯学研究科講義室にて、口腔保健の啓発活動となる講演を系統立って実施し、最新の健康情報を解説する。 10月～12月にわたり東北大学大学院歯学研究科講義室にて実施。	実施（継続）
	がんプロフェッショナル養成事業「がん口腔ケア特別研修」	大学院の講義を公開講座として、がんの診療に参画し、口腔管理を行うための知識・技能・態度を身につけた人材を広く養成する。	東北大学大学院歯学研究科の技術トレーニングコースを歯科医療に関わる方々に公開し、がんに関わる多くの知識と診断技能を身につけ、がん診療等の医科診療において確実な口腔管理を実施するための知識・技能・態度を身につけた多くの人材を養成する。 ・11月～3月に講義と実習を実施した。受講者は23名であり歯科衛生士、介護士等が受講した。（平成21年度～28年度の本コースでは歯科衛生士、看護士163名が受講した。）	実施（継続）
	歯科医学に基づく基礎的・臨床的研究の推進	歯科疾患を予防し、歯と口腔の健康と機能の保持増進をはかることを目的として、疫学研究や基礎的、臨床的研究を行う。	東北大学大学院歯学研究科の使命である歯科医学の推進を担い、基礎的、臨床的研究を推進すると共に、次の世代を先導する研究指導者を養成する。 疫学研究や基礎的、臨床的研究を精力的に推進した。	実施（継続）
	成人歯科健康診査の支援と新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発	成人歯科健康診査を支援しながら、現場の問題点を抽出整理し、新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発を目的とした基礎的、臨床的研究を行う。	美里町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との歯科保健連携協力に関する協定を締結し、地域での歯科保健推進計画に参画して成人歯科健康診査を支援すると共に、新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発とを目的とした基礎的、臨床的研究を行う。 美里町にて、5月から6月にかけての8日間、住民健康診査に併設した成人歯科健康診査を歯科保健啓発健診のシステムで運営し、同時に基礎的、臨床的研究を実施した。	実施（継続）
宮城県歯科医師会	事業所歯科健診	県内の事業所に勤務する従業員の心身両面にわたる健康保持増進に寄与すること	（1）県内事業所からの依頼にて実施（事業所出向または登録医療機関に来院） 問診後、口腔内、歯肉の状況、口腔の清掃状況、その他の所見について診査を行い、その後簡単な口腔保健指導と健診結果を判定し本人および事業所へ知らせる。 延べ 25事業所 健診者 1,766名 （2）事業所からの依頼にて従業員への口腔保健に関する情報の提供。 う蝕・歯周病予防に関する講演（従業員向けの口腔保健に関する講演） 事業所：仙台日通運輸株式会社 日時：11月15日（火）18時～	実施（継続）
	宮城県歯科保健大会（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
	イベントでの啓発事業（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科医師会	医科との連携事業の構築及び推進	医科との連携事業の構築及び推進	<p>(1) 糖尿病講習会（歯周病と糖尿病の関連を啓発） ・平成29年2月18日 参加者82名</p> <p>(2) 全国共通がん医科歯科連携講習会 DVD講習会 ・平成28年6月20日 参加者60名 ・平成28年8月21日 参加者22名 ・平成28年10月30日 参加18名 ・平成29年1月22日 参加者31名 （4回実施 計131名）</p> <p>(3) 口腔がん検診のための研修会 ・平成28年12月5日 参加者 64名</p> <p>(4) がん患者の口腔ケア講習会 ・平成29年3月26日 参加者 86名</p> <p>(5) がん医科歯科連携歯科衛生士臨床研修 ・平成28年9月～11月 歯科衛生士3名 延べ28日</p> <p>(6) 世界糖尿病イベントへの参加 知って得する糖尿病教室企画 ・平成28年11月13日 参加者 250名</p>	実施（継続） 平成28年度事業の継続 世界糖尿病イベント参加予定
歯科衛生士会	成人歯科検診時における歯科保健指導	事業所健診に対する介助と並行しながら特に歯周疾患の予防啓蒙・推進する目的で、ブラッシング指導や生活習慣等に対する指導を行う。	事業所検診時に事業所に依頼状況に応じて集団または個人歯科保健指導を行う。 事業所検診 30件 歯科衛生士 51名	未定
全国健康保険協会 宮城支部	宮城県歯科医師会と連携した広報事業	加入者に対する歯科口腔保健の重要性を周知することにより、健康意識の高揚を図る。	協会けんぽ宮城支部において、健康保険委員に委嘱されている加入者あてに送付している広報誌「だてっこみやぎ」への宮城県歯科医師会より寄稿いただき、歯科口腔保健にかんする記事を掲載。 平成28年4月、7月、10月、平成29年1月にそれぞれ3,000部発送。	実施（継続） 平成29年4月、7月、10月、平成30年1月にそれぞれ3,000部発送予定
	職場健康づくり宣言	加入事業所に対し、社員の健康の保持・増進に事業所が積極的に関わる「健康経営」の考え方を浸透させ、加入者の健康づくり推進を図る。	健康経営に積極的に取り組む事業所をサポートする「職場健康づくり宣言」制度を平成28年9月より開始し、健康づくりに取り組む事業所の募集を行った。その際、取り組み内容の一つに早期の歯科治療の奨励など、歯と口腔の健康づくりに関する項目を設定。 平成29年3月末現在で約350事業所が登録。	継続 平成29年度末までに登録事業所1,000社を目指す。
	特定健診に歯周病検査を取り入れたオブショナル健診	歯と口腔の健康を保つことにより、肥満対策や様々な疾病の予防を図る。	宮城県歯科医師会と連携し、商業施設で同時開催される被扶養者を対象とした「まちかど健診」受診者や、買い物客などをターゲットにイベントを実施。その中で歯周病検査を行った。 開催日：平成28年10月21日 会場：イオンモール名取 実施者数：32名	継続

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
全国健康保険協会 宮城支部	健康保険委員・年金委員 合同研修会における歯科講演	加入者に対する歯科口腔保健の重要性を周知することにより、健康意識の高揚を図る。	健康保険委員・年金委員合同研修会において、宮城県保健福祉部参与の相田先生から「歯の健康が全身の健康に影響する？最新の研究成果から」と題して講演を受けた。 ①平成29年2月24日 グランド平成（大崎市） 参加者 90名 ②平成29年3月14日 仙南芸術文化センター（大河原町） 参加者 94名	未定
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり （再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
山元町食生活改善推進員協議会	平成28年度 歯と口と健康のつどい	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	検討中 平成29年度「元気やまもとみんなの健康まつり」への協力（食生活改善推進員ブースの設置）
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	おやこ食育教室 （カミングおおさき） （再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	大崎市健康と福祉のつどい （食生活改善コーナー） （再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	むし歯予防人形劇 （田尻地域2歳6ヶ月健診）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定
涌谷町健康推進員協議会	いきいき健口講座	近年歯を失うことが、全身の健康に影響を及ぼすことが分かってきており、生活習慣の乱れが歯の健康を損なう原因の一つであるため、生活習慣を見直し、歯の健康の大切さについて学ぶことで地域に暮らす人が健康を維持し、自分らしい生活が送れることを目指します。	今年度の実施なし	実施予定 ①地区活動での歯の健康についての講話の実施（10地区程度） ②6月定例会で「歯の健康について」研修予定

高齢期

テーマ：口腔機能の維持・回復，口腔衛生の維持

○全市町村での歯周疾患検診の実施，受診率の向上

○施設入所者や通所事業所利用者等の歯と口腔の健康管理の充実

○介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築

○成人の歯と口腔の実態把握

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
東北大学	みやぎ県民大学 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	がんプロフェッショナル養成事業「がん口腔ケア特別研修」 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	歯科医学に基づく基礎的・臨床的研究の推進 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	成人歯科健康診査の支援と新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
宮城県歯科医師会	後期高齢者医療広域連合歯科健診事業 【委託事業】	歯科健診を実施することにより，被保険者の健康を保持・増進し，QOL(生活の質)の向上を目指すことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者：75歳 歯科健診希望者は登録歯科医療機関において受診 健診項目：口腔衛生状態，義歯の状況，臼歯部での咬合，歯科疾患，歯式，嚥下機能の検査 等 実績：登録医療機関 767医療機関 実施医療機関 674医療機関 対象者23,015名 受診者数：3,160名(13.7%) ○28年同様，検診結果の分析，訪問検診の追加 	宮歯会員全医療機関の登録に向けて働きかけと受診率のアップ在宅健診希望者への対応策の検討
	要介護者の口腔ケア支援者研修事業 【宮城県委託事業】	要介護者等の口腔ケアの方法，口腔ケアの知識，技術向上を図るため	<p>(1)平成28年8月27日(土) 宮城県歯科医師会館 「地域で安全に行うために知っておくべき摂食嚥下障害のVEによる診断方法と他職種連携による対処方法について」 きらり健康生活協同組合上松川診療所歯科口腔外科 摂食嚥下外来(食のリハビリテーション外来) 原 純一先生 受講人数 85名</p> <p>(2)効果拡充事業 平成29年3月12日(日) 介護老人福祉施設丸森ロイヤルセンター(丸森町) ～施設の口腔ケアリーダーを育成しよう～ 宮城県歯科衛生士会 片桐 美由紀先生・葉坂 里美先生 受講人数 25名</p>	<p>(1)平成29年7月～8月 宮城県歯科医師会館 石巻赤十字病院歯科部長 大井 孝先生他予定</p> <p>(2)平成30年2～3月 「施設での口腔ケアリーダーを養成しよう(口腔アドバンスコース)」 登米地区の介護施設を予定 登米市歯科医師会 宮城県歯科医師会在宅歯科部員 宮城県歯科衛生士会より講師派遣予定</p>

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科医師会	8020よい歯のコンクール	保健衛生思想の向上を目指し健やかに食する歯科保健の大切さを広く県民に啓発するとともに、8020運動推進の一環としてコンクールを行う。	平成28年6月4日現在満80歳以上で現在歯が20本以上（治療完了）で健康状態の良好な方が対象で、県内各市町村広報誌等公募による応募と歯科医師会会員推薦の2つの方法で募集を行い、審査会にて各賞を決定後本人に通知。上位入賞者は第34回宮城県歯科保健大会(日程：11月12日(土)会場：宮城県歯科医師会館)で表彰を行った。入賞者には、症状および記念品を贈る。 ◇応募数198名 ・最優秀賞 2名 ・特別賞 3名 ・8020推進財団理事賞 7名 ・優秀賞10名 ・8020賞 167名	実施（継続）
	宮城県歯科保健大会（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
	みやぎ訪問歯科相談室 （在宅歯科医療連携室整備事業） 【宮城県委託事業】	在宅歯科・口腔ケアの推進	(1) 在宅歯科・口腔ケア希望者の相談に応じる窓口 (2) 訪問歯科診療希望者への訪問歯科診療実施歯医療機関（みやぎ訪問歯科相談室登録医）の紹介 (3) 在宅歯科診療機器（ポータブルレントゲン3台）の貸出及び管理 (4) 訪問歯科診療実施歯医療機関（みやぎ訪問歯科相談室登録医）名簿の作成 (5) 在宅歯科口腔保健の普及啓発 ・相談件数 83件（電話相談） ・紹介件数 38件 ・貸出件数 12件 ・登録医 178機関 ・研修会の開催（60名）、ホームページ作成、リーフレット作成	実施（継続） 相談件数、紹介件数、登録医の増加等従前の目標に加え、「みやぎ訪問歯科相談室」等の在宅歯科診療医療連携関連事業を、県下他地域にも遍く波及させることも目標とする。今年度から各地域での広報活動を地区歯科医師会の協力の下実施予定。
	医科との連携事業の構築及び推進（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
宮城県歯科衛生士会	障害福祉サービス事業所における歯科検診及び歯科相談	地域の特定高齢者を対象として、口腔機能の維持向上の具体的な方法を指導することで、誤嚥性肺炎の予防や、フレイルの予防について意識を高め実践に導く。	介護予防教室および元気応援教室 ・事前アセスメント ・歯科講話 ・歯科保健指導 口腔体操 ・事後アセスメント及び個別サービスの評価と今後について 実施回数 8回 歯科衛生士7名 研修会 2回 歯科衛生士 2名	実施予定 実施場所回数とも未定 （介護包括支援センターや参入企業などの依頼に対応）
宮城県老人福祉施設協議会	口腔ケア・栄養管理研修会	多職種連携による「口腔ケア」の実施を目指し、理論と実践について学ぶ。	医療法人の歯科衛生士を講師に招き、「口腔ケア・栄養管理研修会」を開催した。 ○研修内容 講義：「摂食・嚥下のメカニズムと食事環境の重要性」 実技：「食べる力を維持するための口腔ケアとリハビリ」 ・平成28年11月22日（火）10：00～15：30 ・参加者 介護職員、看護職員、栄養士、調理職員 計42名	「口腔ケア・栄養管理」研修会の開催 ・一日研修 ・参加対象者 介護職員、看護職員、栄養士、調理職員等 ・受講定員 40名 ・口腔ケアの概念や意義、目的を理解し、養介護者の栄養状態、認機能、ADL、QOLの改善・向上に努めることを目的とする。

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内 容	
宮城県 ケアマネジャー協会	「いつまでも口からおいしく食べたい。」	高齢者の食事支援方法の悩み等	<p>多賀城市市民活動サポートセンター3階 大会議室 人数34名（介護士、看護師、栄養士、生活相談員、ケアマネジャー） 管理栄養士と歯科医師の視点から高齢者の食事支援方法の助言。 食事形態・義歯の有無・姿勢・嚥下咀嚼などのサインに気付くこと。きちんと口から食べられていないと低栄養となり、体重の減少や筋肉量低下となりえる。首や舌の筋力も低下し食べにくさにつながります。また、活動量低下といった悪循環にもつながる。そこで一人一人にあった食事形態や口腔内の生活不活発病予防が必要。特に嚥んだ食物を口腔内でまとめられない人にとって刻み食は意味をなさず、柔らかくすることで嚥下しやすい。また、食事の認知により一連の食事動作につながるため、認知症の方々には認知能力に応じた食支援の工夫が必要。</p> <p>体が衰え、少なからず病気を患い、基礎体力が低下し寝たきりになると誤嚥性肺炎になりやすい。食事のサインに気付き、寝たきりにさせない等介護力を高めることで予防し、最後の最後まで口から食べて過ごす人生最後の過ごし方を整えることにつながる。</p> <p>一人で悩まずに周りにいるたくさんの専門職に相談したり、信頼し、みんなで考えると一人では見えなかった解決の糸口が見つかります。</p> <p>今回の研修を通して、姿勢などは理解していましたが、食事形態ではさざみ食で食べやすくしたはずが、機能低下で口の中で嚥んだ食物を塊に出来ない人にとって意味をなさず、介護側の都合のおしつけではないかと痛感させられました。</p> <p>食事の課題は千差万別ですが、高齢者施設に務めているからこそ、ごく当たり前に周りには専門職がおり、些細なことでも各々の専門的見地から知恵を出し合うことができます。多職種から多角的にアプローチし高齢者一人一人の『口から食べる』当たり前の行為や「口からおいしく食べられた」との喜んだ姿の為に、これまで以上に学んだことを活かしていきたいと思えます。</p>	未定
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
山元町食生活改善推進員協議会	平成28年度 歯と口と健康のつどい	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	検討中 平成29年度「元気やまもとみんなの健康まつり」への協力 (食生活改善推進員ブースの設置)
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	大崎市健康と福祉のつどい (食生活改善コーナー) (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）

障がい児・者

○障がい児・者の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
○施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

○障がい児・者が利用できる歯科医療サービスの情報提供の促進

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
東北大学 *石巻市、石巻歯科医師会との協働事業	石巻市障がい福祉サービス事業所歯科健診事業（協働事業）	障がい者の口腔の健康づくりを目的に、健診事業により地域障がい者の歯科疾患・歯科受診の状況を把握し情報を共有すると共に、当事者や関連職種との障がい者歯科に関する知識とスキルの向上を図る。	<p>(1) 石巻市障害福祉サービス事業所への歯と口腔の保健活動に関する調査 ・36事業所を対象として6月に実施し35事業所より回答を得た。</p> <p>(2) 石巻市障害福祉サービス事業所利用者への歯科健診・歯科保健指導および食べ方相談 ・希望のあった28事業所の利用者に、歯科医師2名、歯科衛生士3～5名体制で実施 (7月～12月) ※東北大学は2事業所の健診に参加し516名が受検</p> <p>(3) 質問紙調査結果、検診結果の集計と解析（東北大担当） ・調査結果の集計と解析を行い、関係職種で調査結果の共有と課題検討（石巻市障がい児・者歯科保健事業に関する検討会議にて報告）</p>	<p>実施見込み 実施主体は石巻市。 歯科健診には石巻市歯科医師会所属の歯科医師が従事予定。 東北大学は主に健診結果の集計と解析を担当する。</p>
宮城県歯科医師会	障がい児・者の口腔ケア支援者研修事業 【宮城県委託事業】	障がい児・者の口腔ケアの方法、口腔ケアに関する知識、技術向上を図る。	<p>平成29年1月22日（日） 宮城県歯科医師会館</p> <p>(1) 「障がい児・者のよりよい口腔ケア支援者となるために」 東北大学病院障害者歯科治療部副部長 猪狩 和子先生</p> <p>(2) 「口腔ケアの実践・実技講習」 宮城県歯科衛生士会 片桐 美由紀先生・針生 純代先生他 受講人数85名</p>	<p>(1) 平成29年11月 宮城県歯科医師会 「（仮）障がい児・者のための口腔ケア思念のための医療連携について」 東北大学病院障害者歯科治療部他講師予定 「障がい者への口腔ケア実習」 宮城県歯科衛生士会他講師予定 100名予定</p> <p>(2) 平成29年11月～12月 障がいのある方への口腔ケアサポートマニュアルを使用した「施設での口腔ケアリーダーを養成しよう（口腔ケア 基礎コース）」 はらから福祉会（仙南地区5か所程度の障がい入所施設を予定） 宮城県歯科医師会在宅歯科部員 柴田郡歯科医師会地域保健委員会 障がい者入所施設職員、入所者、家族等30名予定</p>
	みやぎ訪問歯科相談室 （在宅歯科医療連携室整備事業） 【宮城県委託事業】 （再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県歯科医師会	障がい児・者施設歯科健診・ 口腔ケア指導モデル事業 【宮城県委託事業】	障がい児・者における歯と口腔の健康状態の改善及び日常の口腔ケアの定着を図るため、実態の把握と歯科口腔保健指導や口腔ケアの実践に関するマニュアル作成を目的とする。	(1) 連絡調整会議の実施 1回 (2) 歯科保健指導の実施 5施設1回ずつ (3) 実態把握及び健診結果に係る評価分析に必要なデータ集計 (4) マニュアル作成検討委員会 5回 (5) マニュアル作成	事業としては28年度で終了となるが、マニュアルを活用した事業を検討中
宮城県歯科衛生士会	障がい児親子歯みがき教室	「8020運動」の達成を目指し、障がい児を対象として、フッ化物塗布や個々の障がい程度に合わせた歯磨き指導や虫歯予防に関わる食生活指導を行う。口腔の衛生管理に関わるポイントなど保護者（養育者）も一緒に指導を受けることで、虫歯予防や歯肉炎予防の実践により口腔を健康に保つことが、子供の心と身体の健康な育成に深く関わることを、普及、定着を図るものとする。	○ 実施場所及び実施回数 ① 障害児デイケアセンター こどもの広場（東松島市） 1回 保護者15名 障がい児 21名 歯科医師1名 歯科衛生士 7名 ② こども発達センターあかいしの森（富谷市） 1回 保護者28名 障がい児 28名 歯科医師 1名 歯科衛生士 13名） ○ 実施内容 乳幼児期からの歯と口腔の健康管理の必要性とその方法に関する講話相談等 ・フッ化物塗布や正しい歯磨き方法の指導 ・保護者に対する乳幼児の歯と口腔に関する健康教育 ・口腔観察（RDテスト等の活用） 障がい児の子育てに関する情報交換、親睦の場の提供 歯科保健指導を希望する障がい児を育てる保護者（養育者）に対しての指導	実施予定 実施回数 2回 実施場所未定
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり (再掲)	【再掲のため記載省力】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）

食育

○食育の視点を採り入れた歯と口腔の健康づくりの推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成28年度事業実績	平成29年度事業計画
			内容	
宮城県 栄養士設置 市町村連絡協議会	全ライフステージにおける食育の推進	正しい食習慣を確立させ、全身の健康の保持増進を図る。	<p>食育の基本である、望ましい食生活や、よく噛み、味わって食べることの大切さについて普及啓発を図る。適塩推進事業を実施している。</p> <p>①年間を通じ、各市町村で適塩推進普及活動を実施（チラシ配布）</p> <p>②食育推進事業の実施 年間を通じ食育推進事業の実施</p> <p>③重点推進事業の実施 肥満対策及び専門部会の開催 仙台市を除く34市町村で実施</p>	実施（継続）
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）